No. 26265

濃度計量証明書

令和8年7月15日

常石鉄工(株) 若松スティール工場 殿

日東化学工業株式会社
北九州市小倉南区徳吉東4丁目9－1
電話 093（451）2711
FAX 093（451）5537
福岡県登録 濃度第29号

環境計量士	印
下村賢史	

貴依頼によるばい煙量等の計量の結果は次のとおりです。

測定場所	常石鉄工(株) 若松スティール工場
ばい煙発生施設の種類	産廃焼却施設
測定年月日	令和 8 年 6 月 14 日
測定時間	4:50 ～ 7:15
測定者氏名	宮本 勝美　楠 恵介　山下 雄也　黒髪 延人

			定量下限値					
計量の対象	(湿り,乾き)排ガス量※	m^3_N/h		湿り: 667,000		乾き: 661,000		
	排ガス温度※	℃		31.1				
	水分量※	%		0.9				
	ダスト濃度	g/m^3_N	0.0020 g/m^3_N	実測値: 0.0053		換算値: ----		
	排ガス組成※	%	O_2	CO_2 ※	O_2	CO ※	N_2 ※	
			0.20 %	0.2	20.0	0.0	79.8	
	全硫黄酸化物濃度	ppm	1 ppm	---				
	全硫黄酸化物量※	m^3_N/h		---				
	窒素酸化物濃度	ppm	5 ppm	実測値: N.D		換算値: 45未満		
	塩化水素濃度	mg/m^3_N	0.4 mg/m^3_N	実測値: ---		換算値: ---		
	水銀濃度	$\mu g/m^3$	0.03 μg/m3	実測値: ---		換算値: ---		
	水銀濃度	$\mu g/m^3$	0.001 μg/m3	実測値: ---		換算値: ---		
	全水銀濃度	$\mu g/m^3$		実測値: ---		換算値: ---		

※は計量法第107条の計量対象外です。

計量の方法

排ガス中のダスト濃度の測定方法(JIS Z－8808 ろ過捕集による重量濃度測定方法)
排ガス中の窒素酸化物分析方法(JIS B－7982 自動測定)
排ガス中の硫黄酸化物分析方法(JIS K－0103)
排ガス中の塩化水素分析方法(JIS K－0107)
排ガス中の水銀分析方法(環境省告示第94号、粒子状:JIS K－0222)
排ガス中の酸素分析方法(JIS K－0301 5. 化学分析法 オルザット式)

備考 定量下限値未満をN.Dと表す。

貴施設における標準残存酸素濃度(On)　　ダスト濃度: Os　　窒素酸化物濃度: 12

煤煙発生施設の測定状況

名称及び形式		産廃焼却施設
設置年月日		
伝熱面積	m^2	
バーナー燃焼能力	l/h	
火格子面積	kg/h	
焼却能力		
燃料種類		
燃料使用量	m^3/h	
運転状況		

水分量測定記録

測定点	条件		ガスメータ記録				測定値	
中心	吸引ガス流量	大気圧	吸引ガス量	ガスメータ温度	ガスメータ圧力	θmの飽和水蒸気圧	吸湿水分質量	水分量
測定時刻	qm	Pa	Vm	θm	Pm	Pv	ma	Xw
	l/min	kPa	l	℃	kPa	kPa	g	%
5:00	3.0	101.6	9.0	22.0	0.01	2.6	0.06	0.9

排ガス組成測定記録

測定点	オルザット測定値（V／V％）				空気比
中心	CO_2	O_2	CO	N_2	
採取時刻					m
4:50	0.2	20.0	0.0	79.8	17.35

＜水分量の計算＞

$$Xw=\frac{\frac{22.41}{18.02}\times ma\times 100}{Vm\times\frac{273.15}{273.15+\theta m}\times\frac{Pa+Pm-Pv}{101.32}+\frac{22.41}{18.02}\times ma}\ (\%)$$

＜空気比の計算＞

$$m=\frac{N_2}{N_2-3.76(O_2-0.5CO)}$$

＜湿り排ガス量の計算＞

$$Q_N=\frac{273.15}{273.15+\theta s}\times 60\times 60\times A\times\frac{Pa+Ps}{760}\times V\ \ (m^3{}_N/h)$$

＜乾き排ガスの計算＞

$$Q'_N=Q_N\times\left(1-\frac{Xw}{100}\right)\ \ (m^3{}_N/h)$$